

通摩高校 P T A 広報

Yurinoki



百合樹

第20号

平成26年2月28日
島根県立通摩高等学校 P T A

ユリノキ

本校が明治36年、大森に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

P T A会長あいさつ

「意義深い三年間の財産」

瓜坂 秀史



卒業生の皆さん、「家族の皆さん卒業おめでとうございます。また、何よりこれまで支えていた通摩高校の教職員の皆さんに、心より感謝申し上げます。

思い起こせば、奇しくも中学校卒業直前の二〇一一年三月十一日には東日本大震災が発生し、連日の報道も覚めやらぬ中で迎えた入学式でした。未曾有の被害をもたらしたこの災害がこの間浮き彫りにしてきたのは、「絆」ということ「人と人との繋がりの大切さ」ということでした。卒業生はこの三年の間、このことを日々の生活の中で常に感じながら学業に部活動にあるいはボランティアに打ち込んできたことでしょう。そして、今の彼らは中学校を卒業したあの時とは、比べものにならないほど成長していると思います。私もここ最近、子供の受験で頑張っている姿などを垣間見ると、「親が思う以上に大人になったんだな」と感じます。

ただ、まだまだこれからです。「人と人との繋がり」ということで言えば、今後まだたくさんの人と出会うでしょう。そんな中で、皆さんに忘れないでほしいことがあります。今年度の百周年記念行事での講演講師の田中増次江津市長の

お言葉です。「人との出会いが自分の成長に繋がり財産になる」ということです。この言葉をおいて「感謝」の気持ちが大事だということを学び取ることができました。この田中

先生のお言葉を胸に多くの人と繋がりをもつていただきたいと思います。

校長あいさつ

山岡 雄一郎



平素より保護者の皆様方には本校の教育活動に対してもご支援、協力をいただき誠にありがとうございます。さて三年生はいよいよ卒業です。本校入学以来様々な面でお子様を支えてこられた保護者の皆様の感謝はひとしおあります。本校入学以来様々な面でお子様を支えてこられた保護者の皆様の感謝はひとしおあります。さて三年生はいよいよ卒業です。卒業生の皆さん、保護者の皆様のますますのご健勝と引き続いでのご支援をお願いします。

地域や社会に貢献できる人材を育てて参ります。卒業生の皆さん、保護者の皆様のますますのご健勝と引き続いでのご支援をお願いします。

卒業生保護者より

テーマ「贈る言葉」

片山 哲

卒業おめでとう。父からは充実した通摩高校での三年間にみえました。

入学した頃から、進路に向け検定や資格など色々な事に取り組んでいました。また、弓道部でも、目標に向かって仲間たちと一緒に行動する事が出来ました。日々の学習活動や部活動の場

面でも自主的で活発な取り組みは随所に見ることができました。七月には米国から十二人の教員が本校を訪問し、総合学科のシステムの中で生徒一人一人が自分の選択した科目の実習や実験に一生懸命取り組んでいる姿を見て、大いに関心を寄せていました。また、十

卒業生より

三年間本当にありがとうございました。

教職員より

世話になつた先生方や、クラスメイト、目標に向かって一緒に汗を流し、涙した仲間との出会いや経験が、これから的人生の糧になることでしょう。

これからも、自分の目標を大きく持つて「ガンバレ!」みんなで応援しています。

山本 英司

高校生活三年間良き先生方、お世話になつた方々に感謝を忘れないように。
春からは、新しい場所で一步を踏み出す訳だから、つまらないことで壁にぶつかったり、ため息をついたりしないで、間違いを恐れないで立ち止まらずチャンスを掴むしかない。心を燃やした夢はいつまでも終わらない。謙虚さを大切に自分の信じた道を進んで下さい。邁進高校で培つた精神で頑張れ。負けるな。家族で応援しとるから。



前生徒会長 原 爰華

邁進高校で過ごした三年間は、とても充実していました。また、多くの人に支えられていましたが、改めて実感しました。邁進高校で大切な友達、先輩方や後輩、そして先生方に出会えて本当によかったです。

春からは新しい場所で、邁進高校で学んだことを活かして頑張りました。三年間本当にありがとうございました。三年間本当にありがとうございました。

三年二組 川本 小百合

私はこの三年間を振り返って、邁進高校に来て本当に良かったと感じています。部活動で進路で悩んでいるとき、家族や友達、先生方が優しく時には厳しい言葉をかけられ励ました。そのおかげで、もっと頑張つてみようと思えるようになりました。充実した学校生活になりました。

卒業してからは、今まで支えていただいた方への感謝を忘れず頑張ろうと思います。邁進高校で過ごした三年間は楽しく、良い思い出ばかりです。次は私が誰かの支えになるよう過ごしていきたいと思います。本当に三年間ありがとうございました。

三年三組 二谷 結花

邁進高校で過ごした日々を振り返ってみると本当に色々な思い出でいっぱいです。

この三年間、嬉しいことや辛いことがありました時、いつも私の側には友達の存在がありました。毎日、他愛のない会話で盛り上がったり、悩んでいた時には、そつと背中を押してくれる素敵な友達に出会えた邁進高校に入学できて本当に良かったと心から思います。

春から、私たちはそれぞれの進路に向かって歩んでいきます。不安もありますが、邁進高校で学んだことを活かして頑張ります。三年間ありがとうございました。

「感謝」

三年学年主任



三年一組担任 山根 琢博
皆さんは卒業おめでとうございます。この高校三年間は、あつという間に過ぎたと感じる人が多いと

思います。充実した生活を送ってきたものと確信しています。

さて、皆さんは四月より、それぞれの新しい道を歩んでいきます。自分の選んだ道ですから、一歩一歩自信を持って力強く歩んで下さい。そして『親さんに感謝する気持ち』を忘れないで下さい。今までの十八年間、そしてこれからもずっと続く生活で、親さんは君たちをいつまでも温かく見守っています。

最後に、皆さんこれから的人生に『幸多かれ』と願っています。そして、くれぐれも健康に気をつけて活躍して下さい。

「教わる姿勢」

進路指導部長 大野 真由子

息子のスポーツの様子を見てみると、運動能力に関係なくぐつと上達する子がいます。

人のアドバイスに「はい」と返事をして、できなくて一生懸命にやってみようとする子は上達し、逆に「でも…」や「だつて…」と応じる子は伸び悩むように思います。

卒業おめでとう。高校に入学した頃は、具体的な目標などほとんどなかつたと思いますが、これまでの三年間で目標を見つけ、それに向けて努力もしてきたと思います。四月からは専門学校に進み、さらに目標に向かつて勉強していくください。

お世話になつた先生方や良い友達にも恵まれて沢山の思い出ができると思いますが、これからも大切にしていてください。

新たな一步を踏み出すのは不安もあるでしょう。でもあなたなら大丈夫。夢を実現させる力を持っているから。心から応援しています。

四月からは、私を支えてくださつた方々への感謝の気持ちを胸に働きたいと思います。

これは小学生だけのことではないと思う機会がありました。先日、二年生は小論文の講

